

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 18 日 (日)

試合時間：9:00～

主審：福岡 敏徳

副審：佐田 明美

| | | | | | | |
|--------|----------|----|-------|----|----------|--------|
| 鹿屋体育大学 | ○ 6 9 | 21 | —1st— | 9 | ● 5 7 | 福岡教育大学 |
| | | 21 | —2nd— | 13 | | |
| | | 10 | —3rd— | 11 | | |
| | | 17 | —4th— | 24 | | |

第 1 ピリオド

激戦の九州リーグ 2 巡目。鹿体大 #7 原のフリースローで先制すると、ディフェンスでは福教大に思うようにオフェンスをさせないよう、ゾーンプレスで奇襲をかける。対して、福教大 #6 鶴川がドライブからファウルをもらいフリースロー 2 本を決めるも、その後、得点する事が出来ない。残り 5 : 2 2、たまたま福教大はタイムアウトを請求。その後、福教大は #6 鶴川がドライブ、3 P シュートで連続得点をするも、21 - 9 の鹿体大リードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

点差を縮めたい福教大は、#6 鶴川、#12 森川のドライブに合わせた #17 中尾がインサイド、アウトサイドシュートで得点し勢いをつける。福教大の厳しいディナイで、パッシングができない鹿体大 #8 中山、#34 城間はドライブ中心の展開に切り替える。鹿体大 #51 川口はインサイドで体を張りリバウンドショット、更には、アウトサイドシュートでも得点を重ねる。徐々に点差が開き、42 - 22 の鹿体大 20 点差の大量リードで前半終了。

第 3 ピリオド

粘りたい福教大は #12 森川が序盤から、最前線でプレッシャーをかけ続け攻めのディフェンスを見せる。その姿に鼓舞された福教大 #9 浅田、#6 鶴川が連続スティールから得点し、福教大が息を吹き返す。追撃を阻止したい鹿体大のインサイド陣、#3 大串、#5 井上、#51 川口がリバウンドを完璧に抑え、セカンドチャンスを作らせない。互いに守りの時間が続き、得点が伸びない両者の第 3 ピリオドは、52 - 33 の鹿体大リードで終える。

第 4 ピリオド

徹底してゾーンプレスをする鹿体大は、#5 井上が一瞬の隙を狙い、スティールから得点に繋げ、突き放しをかける。意地を見せたい福教大は、#12 森川が中央突破でチャンスを作る。すると、福教大 #6 鶴川が連続 3 P シュート、さらにブレイクからファウルをもらいフリースロー 2 本を決め 10 点差にする。残り 3 : 20、鹿体大はタイムアウトを請求。福教大 #6 鶴川に対しフェイスガードでの守りに変える。鹿体大は #35 篠原がドライブからディフェンスを崩し、#8 中山、#26 後藤に合わせ得点していく。終了間際、鹿体大 #35 篠原がレイアップを決め、福教大の追撃を逃げ切った鹿体大が、69 - 57 で試合終了。鹿体大はインカレに向けての勝利を一つ積み上げた。